

授業概要

経済学の基本的な理論と今日の主要な課題を講義する。今日の経済学の問題点を理解し、その上で自分で経済問題について考えられるようになることを目標に講義を行う。講義の主題は理論問題と国際経済の概要に置く。ただし、必要に応じて経済の時事問題を講義中に取り上げる。学生が時事的な経済問題に自分の意見を持てるように指導していきたい。

授業計画

第1回	経済学とは何か
第2回	価値と価格
第3回	交換と貨幣
第4回	貨幣の機能（1）－価値尺度機能
第5回	貨幣の機能（2）－流通手段と価値の保存
第6回	貨幣の使用法
第7回	労働の役割
第8回	生産の仕組（1）－労働生産過程
第9回	生産の仕組（2）－価値の形成
第10回	利潤
第11回	利子
第12回	景気循環
第13回	成長と停滞
第14回	国際経済の変質（1）－金本位制の崩壊
第15回	国際経済の変質（2）－変動為替相場制
第16回	定期試験

到達目標

経済学の基本的な理論を習得する。
 経済の仕組に関する基本的な知識を習得する。

履修上の注意

授業中のノートを中心に学習すること。
 経済問題に関心を持つこと。

予習復習

ノートを読み返して、授業内容について整理すること。

評価方法

定期試験・中間試験・レポートによる。定期試験 60%、中間試験 30%、レポート 10%の配点とする。ただし変更する場合もある。

テキスト

授業中に参考文献を指示する。

授業概要

資本主義と一般に呼ばれる経済システムの基本的メカニズムについて講義します。はじめに資本主義経済のコアとなる市場システムについて学びます。商品とはなにか、貨幣はどうして生まれたのか、商品の価格はどのようにして決まるのか、といった諸問題を学んでいきます。次に、労働と生産との関連、労働市場などについて、最後に、価格メカニズム、商業機構、信用機構、株式会社などについて学んでいきます。現実の目に見える世界の背後にある法則を理解することによって、現代経済に対する理解を深めることを目的としています。

授業計画

第1回	ガイダンス（講義の概要）
第2回	商品とはなにか
第3回	貨幣の生成
第4回	貨幣の諸機能
第5回	資本の発生
第6回	資本の概念
第7回	中間まとめ：中間テスト
第8回	労働組織と賃金制度
第9回	社会的再生産
第10回	蓄積と労働市場
第11回	価格機構・利潤
第12回	商業機構
第13回	商業信用
第14回	銀行信用
第15回	株式会社
第16回	総括：期末テスト

到達目標

- 1) 資本主義の基本的メカニズムを理解する。
- 2) 資本主義の理論における専門用語について理解し、説明できる力を身につける。
- 3) 現代の経済システムの背後にあるメカニズムについて説明する力を身につける。

履修上の注意

講義時間が限られていますので、遅刻は可能な限りしないでください。
 なお、遅刻の際も入室は制限しませんので、可能な限り聴講してください。
 質問は講義終了後に受け付けます。

予習復習

講義で配布するプリントならびに紹介する諸文献を利用して予習・復習することにつとめて下さい。

評価方法

中間テスト 50%と期末テスト 50%によって評価を行います。

テキスト

教科書：特に指定しません。プリントを配布します。
 参考書：宇野弘蔵『経済原論』岩波文庫（860円）、
 小幡道昭『経済理論 基礎と演習』東京大学出版会（3400円）、
 SGCIME 編『増補新版 現代経済の解説』御茶の水書房（2300円）。